

事前質疑・ご意見等①

今、フレイル状態にならない為に、食生活に気をつかい、身体活動等を積極的に行い、健康寿命の延伸に取り組んでおりますが、本当に平均寿命の延びに比して、健康寿命が延びていると、はっきり言えるエビデンスがまだ不十分に思います。会員等に説明する時なかなか、わかってもらうのに苦労しています。

回答①

- ・平均寿命や健康寿命の評価については、数年に1度に公表されますので、長期的にみて評価するものと考えております。
- ・瑞浪市健康づくり計画 みずなみ健康21（第3次）の12ページに（3）平均自立期間（健康寿命）の状況が掲載されています。

『国が示す健康寿命は、「日常生活に制限のない期間の平均」に加えて、要介護を活用した補完的指標として「日常生活動作が自立している期間の平均」を用いることを決めています。』

- 瑞浪市健康づくり計画（みずなみ健康21第3次）および健康づくり推進会議では、毎年、市や各機関・団体の健康づくりの取り組み状況を確認するとともに、補完的指標（平均自立期間）で現状を確認する指標として挙げさせていただいております。
- ・右のグラフのように、短期間（赤枠）で比較すると平均自立期間が短くなっていますが、グラフ全体でみると右肩上がりにて長くなっていますので、健康寿命も延びていると推測できます。

●平成27年度から令和7年度の平均自立期間（健康寿命）の推移【単位：歳】

資料：国民健康保険データベース（KDB）システム

